

発 行
平成24年
11月19日
復刊 第77号



発 行 者
長野県下伊那農業高校
同 窓 会
TEL(22)5550(代)
FAX(53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍共印刷(株)



公益法人への 移行に向けて

稲丘会館耐震化改修工事

稲丘会の公益法人認定に向けて、地域の多くの人に稲丘会館を利用していただける施設にしなければなりません。そのため、稲丘会館の耐震化工事並びに改修工事を平成二十四年十月より本年度いっぱい予定で、現在行っています。

入札の結果
伊賀良建設株式会社で約二千万円で施工

耐震補強工事として、壁に鉄骨補強工事を行います。
改修工事・一階
○会議室・ホールの床張り替え及び内装。
○事務室を広くして資料室にする。



○厨房を狭くする。
○倉庫を改修し、かねてから念願でありました内便所を作る。
改修工事・二階
○三層屋をフロアリングとする。
○三層屋を広間化しアコーデイオンカーテンで仕切る。

十人乗り車購入

同窓会の皆様にはおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
本同窓会(財)稲丘会の『公益法人移行』に伴い、マイクロバス貸与、同窓会館施設貸与の二事業を柱に認定に向けて協議しております。マイクロバス貸与に關しましては、二年間の実績を残す事が条件とされており、現在、同窓会マイクロバスを貸与するには、免許条件等あり困難なことから十人乗り乗用車を購入致しました。去る十月十七日に納車され、安全祈願を行いました。室内や装備等大変使いやすく

おまかな内容ですが、十月より耐震化工事並びに改修工事を行っています。完成しましたら、同窓会員を始めとして地域の多くの方々に利用していただける施設になると思います。

稲丘会館館長
齊藤清昭(高25回卒)



校内幹事
木下孝繁(高47回卒)

稲穂会と

各支会の活動に期待

同窓会長 岩崎 和男 (高9回卒)



同窓会員の皆様方におかれましては、日々ご健勝にお過ごしのことと拝察し、お慶びを申し上げます。又、母校発展と同窓会発展にご尽力、ご協力、賜っており、心より感謝申し上げます。

稲丘時報も七十七号となり、まさしく歴史を感じるのと同時に喜ばしい限りでございます。多くの皆様にご寄稿いただき中今日があり、感謝し、更に充実した稲丘時報としたいと思っております。

一昨年三月に発生した東日本大震災と原発事故は、大きな災害をもたらしました。多くの農地は未だ元の姿に戻らず、厳しいものがあり、一日も早い復旧・復興を願う所でもあります。

さて、同窓会も五月十九日に代議員各位のご協力により無事終了し、全ての案件が承認されました。その中で多くの御意見、御提言等を真摯に対応して参りたいと思っております。

我が同窓会は、財団法人稲丘会を運営・管理してお

ります。先般の法改正により、法人の在り方を検討して参りました。先輩各位が残してくれた貴重な財産ですので公益法人として存続する必要があります。それに向けて信濃サポートセンターのご協力をいただき、五名の理事の皆様にごプロジェクトチームを組んで検討していただき、公益法人化に向けての設立が可能となる目処が立ちました。平成二十五年年度迄に移行手続き完了のため、現在稲丘会館の耐震化を進めていると同時にマイクロボスの増車と更新を行うべき対応を実施中です。

今後は公益法人稲丘会として多くの皆様方に御利用、御活用を願う所でございます。

我が同窓会も女性の会員が四千七百有余名となりました。現在下農の生徒の半分以上が女生徒であり、今後女性の同窓生が増えて参ります。女性の会員で組織をしております稲穂会の充実を更に協力に押し進めていくべきと思っております。

現在の稲穂会もマレットゴルフ等を通じ活発な活動と交流に取り組まれておりますので、多くの会員の御理解と御協力を願う所でありたいと思っております。

又、毎年行われておりま

すゴルフコンペも二十一回を数え、六月二十六日に二百三十余名にて盛大に開催をされ、下農同窓会の層の厚さを感じている次第であります。実行委員の皆さんのお骨折りに感謝を申し上げます。

さて、少子化は益々進んでおりまして再び高校再編が叫ばれる時代に成りました。まだ具体的な考えは示されておりませんが、我が母校は地域の農業振興に多大な貢献をし、期待される学校として母校の校歌の一節、「農は我らの命かな」のごとき単独農業高校として末長く存続する必要がありますと考えており、世論の喚起の為、同窓生の皆様の御協力を賜る所でありたい。

十月二十四日には第六十三回の日本学校農業クラブの全国大会長野大会が開催をされ、出席をさせていただきました。今の農業高校の生徒諸君のすばらしい意見、又プロジェクトの発表を聴き、又その運営の方法等に接しそのすばらしさに感動、感激し、日本の良き将来性を感じた所で、後輩生徒達に拍手を送りたいと思っております。

終わりになりますが、同窓会には多くの支会があります。活発な活動そして総会の開催をお願いをしますと同時に稲丘時報の配布をお願いをします。同窓会各位の御健勝と母校の発展を御祈念しまして御挨拶いたします。

地域の人材養成としての下農

学校長 遠山 善治 (高26回卒)



同窓会の皆さまには、本校の教育に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年の六月におこなわれた同窓会親善ゴルフ大会では、多額のご寄付をいただき心より御礼を申し上げます。皆さまの母校への熱い思いに触れさせていただき感激しています。貴重な浄財を生徒の活動等に有効に活用させていただきます。

本校の特長の一つに、よく卒業生が訪ねてくると言われた職員がいましたが、先月には米寿をむかえた卒業生が、数日前には六十代の卒業生が来校されました。いずれも、母校に対しての熱い期待が寄せられ、身の引き締まる思いとともに、伝統の重みを痛感しました。先日は、この春卒業した女子生徒が、とても心温まる話をされましたのでここに紹介いたします。

彼女は、今春アグリサー

ビス科を卒業して地域の福祉施設に介護職員として就職しました。持ち前の優しさと明るさで、お年寄りの接し方に戸惑いを感じつつも、懸命に仕事に頑張っているようでした。ある時、伏し目がちなおじいさんが、以前、大きなトラクターを使って農業をやっていた様子を得意げに話をしてくれました。おじいさんの話に一定の理解はできるものの、盛り上がった話にはならないのです。懸命に話をしてくるおじいさんの気持ちに寄り添い、何とかおじいさんを元気づけたいという思いから、家に帰って、高校の時に使った農業の教科書を開いて農業機械の勉強をしたのでした。翌日、彼女はにわか知識を胸に、おじいさんにトラクターの種類や運転操作などの機械のことを自ら話題にしたところ、表情がとつても明るくなって予想以上に話が盛り上がったとのことでした。その後は、おじいさんは彼女を頼りにして、いろいろと話しかけて、生活の知恵を教えてくれるとのことでした。

彼女はこの経験から「下農で学んだことが介護の仕事の中に役立っている。卒業して下農の授業の良さがわかった」と言い、「下農を卒業して本当に良かった。どここの学校よりも下農はいい学校」と言い切ったのです。その表情は希望に満ちていました。

私は、彼女が介護の仕事に対しての前向きな姿勢、そして、何よりも、本校で学んだ専門の知識が仕事の中に活かされていることに大変うれしい気持ちになりました。本校の地域を教材にして、食や環境、生命や暮らしの学びは、すべての人たちの生活に密着しているのです。これらの学びは、結果としてこの地域で必要とされていることを強く感じました。

少子化が進み、高校のあり方が問われる時代となりました。本校の教育をとおして、彼女のように地域の中でたくましく生きる人材を育てることが本校の使命であると考えます。地域で活躍している多くの同窓生の皆さまのお力をいただき、地域の担い手としての有為な人材を輩出する高等学校として発展していきたいと考えます。皆さまのご指導をいただきますようお願い申し上げます。

同窓生の活躍

活動報告

生涯現役

ラグビー県内最年長現役プレーヤー

野 竹 範 一(高8回卒)

堀尾先生に「野竹ラグビーやれ」と言われて、ラグビー部に入ったのが、一年生の秋運動会が終わった後でした。以来六十年近くラグビーとつきあって、七十五才になった今年も、九月九日に茨城県水戸市で開催された関東甲信越ラグビーフットボール不惑大会に、長野県チーム信濃不惑クラブの一員として参加しました。

先輩の原さんも同行しましたが、ゲームには出ませんでしたので七十才代では私と飯田OBの岡島君と二人で東京、新潟、群馬、山梨との混合チームでゲームを楽しみました。不惑大会の名のとおり四十才以上の選手の集りです。トランクスの色で四十才代は白、五十才代は紺、六十才代は赤、七十才代は黄、八十才代は紫と色で年代がわかるようになっております。七十代、八十代の選手も多勢居て、前後半十五分づつですが、今回は前半十五分しか出られれば村営グラウンドへ行つて少しづつ走っています。雨等でグラウンドが悪いときは、道路を走ったり歩いたりしています。古い話ですが、下農三年の秋陸上部から助っ人を頼まれ駅伝の予選会に出て五区三千米で区間賞を獲りました。良い思い出です。県縦断駅伝の予選会にも出ましたが、駄目でした。酒とかを覚え、練習がおろそかになったせいだったと思います。

私の家は、娘の婿も含むと下農出身が六人になります。益正月に集まれば同窓会になります。

私の息子も下農でラグビーをやりましたが、息子の先輩の矢澤君、同級の矢澤光君、清水君、飯野君、後輩の片桐君等も現在信濃不惑の一員で頑張っていて、清水君は今回のゲームで、二トライをし信濃不惑の勝利に貢献しました。

ラグビーを今も続けられる頑健な体を授けてくれた今は亡き両親に感謝し、生涯現役を目指して頑張りたいと思います。

ラグビーとの縁を作ってくれました堀尾先生の御冥福を御祈り申し上げますと共に、母校の益々の発展と同窓の皆様御健勝を願って止みません。写真は九月九日水戸ツインフィールド(サッカーラグビー場)で写したものです。

去る五月十二日、シルクホテルにて、「下農野球部大澤勲監督 定年を祝う会」が行われました。後輩からの提案があり大澤先生の定年を御祝いしませんかという事で大澤先生が下農野球部の監督として、指導をしてこられた昭和五十三年から昭和六十二年までの八年間の間に御世話になった部員(百十四名)各年代ごとに数名の代表者を選出し、二月上旬より数回の実行委員会を開き、計画を進めてきました。当日は、大澤先生の奥様にも御出席をしていただきました。遠方からもたくさんの方の参加があり、部員五十三名、女子マネージャー六名、総勢五十九名で盛大に開催することができました。下農卒業後、三十数年ぶりに会う友、先輩、後輩、又初めて会う後輩たちと、当時は振り返って大いに盛り上がりました。又大澤先生が用意してきてくださった当時のスライド写真など見ながら、当時の思い出話に花を咲かせることができました。私が御世話になった当時、先生はまだ二十八歳という若さで監督就任一年目ということ

で、とにかく熱血漢あふれる御指導をしていたと思いますが、真夏のグラウンドで、朝から晩まで泥だらけになってボールを追いかけたこと、真っ暗になるまで行なった素振り、ケツバットに、ピンタ、どれもが懐しい思い出です。平日は基より、休日でも、長期休み中も、朝早くから夜遅くまで生徒と一緒に汗を流して、御指導をしてくださった先生には本当に感謝しております。毎日、大変な練習でしたが、高校三年間の野球を通して学んだことは、大きな財産になったと思います。今回高校三年間同じ目標に向かつて頑張った

多くの仲間たちと、大澤先生の定年を御祝いすることができて、本当によかったと思います。聞くところによりますと、先生は引き続き野球部、部長さんとして御指導に当たられるようですが、健康に十分御留意されまして、御指導されますよう御祈り申し上げます。また下農野球部の益々の活躍を御期待しております。

盛んに開催された大澤監督定年を祝う会

高 田 和 寿(高32回卒)



卒業四十周年記念同窓会

竹村 清 海 (高25回卒)



平成二十四年、二月十一日、昼神温泉「阿智川」に於て、卒業第二十五回生の同窓会を開催しました。

私たち同期同窓会は、五年に一回行っており、今回は卒業四十周年記念の同窓会となりました。

前回、卒二十五周年の時、大宮温泉で次回の実行委員長をやれという事で、及ばずながら私が先頭に、各コースより二人づつの役員と、何回も役員会を行って計画を立てました。

最初の役員会で、「四十周年という節目で、何処か温泉にでも泊って盛大にやろう。」という意見が出まして、それなら「昼神温泉」という事で、色々厳選した結果、ホテル「阿智川」に決まりました。そうは言っても宿泊となると、費用も時間的な制約も負担になります。正直、何人集つてくれるか心配でした。

一枚、又一枚と返って来て、当日の出席者は、八十人を越える同窓生、恩師の先生方が集まってくれました。中でも田畑自助先生は、八十六歳という高齢にも関わらず元気な姿で出席され、皆に次回も元気に出て来てなど、励まされておりました。年を重ねた恩師の姿に、四十年という時間の長さを感じずにはいられませんでした。卒業から四十年、私どもは、下農時代に学んだ「ボーイズビー、アンビシャス」を胸に、激しく移り変わる社会、また氾濫する情報のなかで「シャニム」に、生きて来た様な気がします。そんな中で起きた、昨年の三月十一日、あの「東北大地震」。大自然の脅威と人間の創った物の何と脆い事。決して他人事では無いと想ったのではないでしょう。そして平成二十四年の今年、殆どの同窓生は五十八歳という年齢になるのです。

あと二年で「還暦」、六十歳です。多くの方は結婚され、子供をもうけ、家族の為に我無者羅になつて働き、早い人は、孫の一人や二人いるのではないでしょう。中には、両親の介護に追われ、精神的にも肉体的にも疲れ果て、愚痴の一つも溢した人もいます。また、両親どころか本人が病に侵され、親より先に「命」を絶たれた方もおられます。

正に山あり谷ありの長い『人生』というものを実感している私共が、今日ここに集まつて、遠い昔を懐かしく語り合い、恩師を交えて酒を酌み交し、温泉に於て、「あつ」という間の楽しいひと時を過ごしました。五年後の次回をまた楽しみに、別れを惜しんだ昼神温泉でした。

追伸、多忙の中、何回もの会合に集つて、御協力くださいました役員の方々に、心から感謝申し上げます。

支会活動

同窓林について

―千代支会報告―

事務局長 淵田 隆 (高21回卒)

当支会には同窓林があります。この同窓林は昭和四十一年に支会長と会員である二名の方の協力を得て四十五年間の契約を結び会員が協力して山林の施業あたり収益をあげ相互の親睦と知識の向上をはかり会の運営、会員の福利厚生に運用し又社会の向上をめざし、公共事業に寄与したりすることを目的として始めました。檜、杉、松の植樹を会員が年一回の出役で二年間実施をし三年目以降は下刈り、除伐、枝打ちを二十数名で実施してまいりました。三十数年が経過し同窓林の樹木が混んで来ましたが会員の手では作業がむずかしいと決意確認をしました。

母校の史料を集めています!

同窓会事務局では、母校創立百周年にむけて、歴史の証人である史料を集めています。青春時代を謳歌した当時の様子。プリントやノート、教科書、帽子、実習服、バッジ、写真等々・・・どんなものでも結構です。土蔵に眠っている母校の思い出を、学校で大切に保管し展示したいと考えています。ご協力いただける方は同窓会事務局にご一報をお願いします。



稲穂会活動

会員の絆を……

副部長 中山 多美子 (高18回卒)



稲穂会の存在は知ってはおりましたが内容は一つ知らなかった私が副をおおせつかり、会長様始め、皆様の指導のもとせい一ぱい職を勤めさせて頂きたいと思っております。又事務局の先生方には大変お世話様になり、稲穂会も活動できております事に感謝致しております。

稲穂会の行事も総会と同時に行われた今年初めて、いつもと少し変わった事を計画致しました。本校の卒業生の伊那谷道中でレギュラー出演をしています「伊那谷芸人さっちゃん」をお迎え致しまして、二月十八日十時より第二体育館におきまして、まず大道芸を見学させて頂きました。ハラハラドキドキの演技の数々で我を忘れて見入っていました。身近な地域にこ

んなすばらしい演技をなさる方がいらつしやる事にとってもうれしくこれから応援していかねばと感心させられました。四十分程の演技の後バルーン使って犬などを作りました。ゴム風船をふくらませるのも大変、昔子供の頃買つて遊んだ風船とはちがいゴムもしつかりしていてふくらまず事が出来ず大変でした。それをねじ耳やしっぽ顔を作り出していくのですがハゼないかと顔をしかめ勇気を出してねじてあと一回という所でハゼしてしまいいいガツカリという事のくり返して何とか作り家に持ち帰る事が出来ました。

さっちゃんは手さばきよく色々な動物を作つて見せて下さりつつが



2月18日 稲穂会行事「さっちゃんによるバルーン教室」

プロと目をみはりました。今年はお変わった試みで参加人数も十六名の参加となりました。

稲穂会も毎年、出席して下さるクラス、顔ぶれが決まつてしまいい新しい方々の参加が得られません。

例年通りのマレットゴルフ大会や、又新しい行事を考えていきたいと思つております。一人でも多くの方々が稲穂会の存在、活動内容を知つて頂き、参加してくださる事を願つております。

新しい出会い、絆で結ばれる同窓生の輪の広がる事を節に願つております。皆様ぜひ、ご協力の程をお願い致します。

第二十一回大会を振り返り

事務局長 牧野 光 彰 (高20回卒)



今年も六月二十六日、二百三十人を超える多くの同窓生の方々のご参加をいただき、高森カントリーにおいて、同窓会ゴルフコンペを、盛大に開催する事ができました。何しろ梅雨の時期であり、一週間前位から、天気予報が気になる毎日、当日目を覚ますと、前日の予報どおりの曇り空、六時の集合時間に合わせ支度を

して、ゴルフ場へ向かうと「ん：雨、フロントガラスに雫が……」六時三十分よりの開会式の頃には雨足も強く心配されましたが、正副実行委員長による始球式の頃には雨も少しづつ弱まりながら曇り空となり、スタート組数が増す事に青空も広がりが、少し蒸し暑さも感じながらも梅雨とは思えぬ絶好のゴルフ日和となり雨上がりの緑の中、清々しさを感しながら、ゴルフを楽しむ事ができました。

今年もショートホールへ設置されたチャリテイホールには、たくさんの方々の御協力をいただき、母校の後輩達への多額のチャリテイ

金を贈呈する事もでき、競技終了後の表彰式、懇親会においては、同窓会長、校長先生、来賓として来ていただいた木下様をはじめ多くの方々が出席していただき、又賞品についても賞品係の方々をはじめ、同窓生、協賛各位のご協力により、当初飛び賞も十飛の予定を五飛にと変更、参加された方々へ多数の賞品をお渡しすることができました。

母校も一世紀と言う長い歩を迎えんとする今、地域に大きな根を張り、その下で育つた、同窓会のこのゴルフ大会も、四半世紀という歴史に向けて根を広げ幹も年々大きく育ち、その葉の下に集まる人々の数も二百名を超えるたいへん大きな大会となつた今、この歩が少しづつ顔ぶれは変わりますが、半世紀、一世紀へ

下農同窓会親善ゴルフ大会成績

支会対抗の部				
優勝	市田支会			
準優勝	山吹支会			
3位	神稲支会			
4位	大島・生田支会			
5位	松尾支会			
個人の部				
優勝	林 直一	高20回	市 田	
準優勝	壬 生一	高11回	神 稲	
3位	篠 田 英	高12回	座光寺	
4位	桐 生 英 明	高46回	下久堅	
5位	藪 原 博 司	高19回	上片桐	
6位	木 下 喬 司	高23回	松 尾	
7位	伊 藤 宗 夫	高24回	山 本	
8位	古 川 啓 二	高25回	伊賀良	
9位	原 武 義	高15回	河 野	
10位	松 岡 武 人	高13回		

と歩まん事を折念し、又今回の大会の開催に当たって、各幹事の方々、賞品確保にたいへんご尽力をいただいた賞品係の皆様をはじめ、



支会対抗の部で優勝した市田支会

当日競技の運営に携わった各係の皆様、地域を超えて今回の大会にお集まりいただいた皆様へ感謝をしご報告とさせていただきます。

会 務 報 告

幹事長 大澤 勲 (高22回卒)



例年に無く猛暑が続ぎ、十月に入ってもまだまだ暑い日が続きますが同窓会員

の皆さまにおかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。本年も引き続き幹事長をお受けすることになりました。もとよりその器ではございません又ある先輩の先生から「いつまで幹事長をやっているの!!」とのご指

摘を賜り我が身をも省みませずお引き受けを致し誠に申し訳なく存じておるしだいであります。しかしながら最後の一年を会員の皆様方、校内幹事の先生方のご指導ご鞭撻を仰ぎ、精一杯勤めさせて頂く所存でございますので一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会にとりまして昨年度から本年度にかけて大きな事業が発生致しました。それは「財団法人稲丘会」のありかたについてであります。

このことにつきましては後段で報告いたします。

この役員体勢になり四年目を迎え、五月に開催致しました理事・代議員会では昨年度の事業決算報告、本年度の事業・予算が承認され事業がスタート致しました。

昨年度は特に例年と変わった事業はありませんが、主立った事業の内容をご報告致します。

第一に、五月十九日に代議員会を稲丘会館で開催し多数の代議員の方々にご出席を頂き、盛会の内の議事の承認を頂きました。

第二に、同窓会の大きな事業の一つであります第二十一回親善ゴルフ大会が六月二十六日、二〇〇余名のご参加を頂き盛会に行われま

した。例年通り参加者の皆様から母校に多額のご寄付をいただきました。校友会など生徒の活動に使わせて頂きます。

第三は、稲穂会(女子部会)の活動であります。本校卒業の女性会員も四千五百名を超え、全卒業生数一万七千名の四分の一になり、在校生は過半数を占め、稲穂会の活動が更に活発になり同窓会に新たな明るい旋風を巻き起こして頂けることと期待しております。二月には総会も予定致しておりますので、多数のご参加を頂き盛会になりますことを念じておる次第であります。

第四に、支会活動であります。例年総会を開いて頂いておりますが、昨年度は東京・上郷・市役所・合庁・伊賀良・松尾・神福・座光寺・川路の各支会で開催され、会長始め事務局から校内幹事が出向いております。その中で年一回発行される時報が届かないと言った声を耳に致しますが、是非各支会で組織の充実をして頂き、全会員の皆さまに時報が届きますことを願うものであります。更なる支会の発展を願っております。

最初に申し上げます。財団法人稲丘会は平成二十年十二月一日に新制度が施行され本会も検討がなされて

おります。本同窓会と致しまして、「法人移行専任役員」として井上征雄さん(十一回卒) 宮沢一美さん(十二回卒) 関島伸喜さん(十三回卒) 久保田信好さん(川手角夫さん(二十回卒)を平成二十三年度の「財」稲丘会理事会に於いてご選任頂き、その対応について会議を重ね、又「しなの中小法人サポートセンター」に業務委託契約を致し、二回の臨時理事会を経て「公益法人」として移行するべ

く進行し、十月十七日には、レンタル業務用「普通ワゴン車」が納車され、稲丘会館は「耐震化・改修工事」が今年十二月末までに終了し、申請をしてまいることになっております。会員の皆様方に於かれましては、母校の発展のためにより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。



平成24年5月19日 代議員会

平成23年度 決 算 書

平成24年5月19日 提 案
平成24年5月19日 承 認

- 1 歳入総額 2,592,770円
- 2 歳出総額 1,442,215円
- 3 差引残額 1,150,555円

1 歳入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
入 会 金	1,248,000	0	1,248,000	1,240,000	▲ 8,000	8000×155名
雑 収 入 (利子)	627	0	627	197	▲ 430	定期繰入、利息、CD売り上げ
繰 越 金	1,052,573	0	1,052,573	1,052,573	0	
終 身 会 費	302,000	0	302,000	300,000	▲ 2,000	2000×150名
そ の 他	0		0	0	0	CD売り上げ、寄付等
合 計	2,603,200	0	2,603,200	2,592,770	▲ 10,430	

2 歳出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			支出済額	予算残額	備 考
	当初予算額	流用	計			
1 事務費	465,000	0	465,000	186,635	278,365	
1) 旅 費	135,000		135,000	17,055	117,945	支会総会等の旅費
2) 事 務 費	60,000		60,000	5,486	54,514	手数料・プリンターインク他
3) 通 信 費	20,000		20,000	9,680	10,320	郵送料・電話代
4) 消 耗 品 費	70,000		70,000	37,864	32,136	印刷用紙他
5) 負 担 金	30,000		30,000	18,000	12,000	地区同窓会負担金
6) 正 副 会 長 交 際 費	150,000		150,000	98,550	51,450	各種会議参加費等
2 会議費	260,000	0	260,000	197,564	62,436	
1) 役 員 会 費	30,000		30,000	9,450	20,550	監査会等
2) 代 議 員 会 費	170,000		170,000	129,360	40,640	代議員会
3) 幹 事 会 費	60,000		60,000	58,754	1,246	校内幹事会会議費
3 事業費	1,450,000	0	1,450,000	863,847	586,153	
1) 稲 穂 会 費	120,000		120,000	109,513	10,487	活動費・総会費
2) 事 業 推 進 費	370,000		370,000	66,000	304,000	支会総会の参加
3) 稲 丘 時 報 発 行 費	250,000		250,000	241,500	8,500	稲丘時報発行費
4) 同 窓 会 林 管 理 費	10,000		10,000	864	9,136	同窓会林間伐等管理
5) 新 正 会 員 歓 迎 費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲 丘 会 事 業 寄 付 金	200,000		200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
7) 親 善 大 会 費	100,000		100,000	95,970	4,030	親善ゴルフ
8) 研 究 費	250,000		250,000	0	250,000	創立90周年事業準備会
4 雑支出	226,000	0	226,000	45,389	180,611	
1) 慶 弔 費	120,000	0	120,000	9,389	110,611	祝儀・香典・弔電
2) 転退職職員記念品費	60,000	0	60,000	36,000	24,000	餞別
3) 雑 費	46,000		46,000	0	46,000	
5 予備費	202,200	0	202,200	148,780	53,420	
1) 予 備 費	202,200	0	202,200	148,780	53,420	
合 計	2,603,200	0	2,603,200	1,442,215	1,160,985	

平成二十三年度末 会員の異動

一、同窓会員(名)

二十四年三月 卒業により正会員になったもの

一五一

四月 入学により準会員になったもの 一五八

正会員数 一七、七七八

旧制 二、四八九

高校 一五、二八九

内 男子

一〇、五五二

(二十三年度 七十五)

女子

四、七三七

(二十三年度 七十六)

二、職員の異動

「転入」

(教頭) 嶋崎 文男

(国語) 水上あけみ

(数学) 柳 哲生

(数学) 井澤 弘幸

(理科) 中川 慶彦

(家庭) 中井 京子

(農業) 北原 淳子

(農業) 田中 滋康

(事務長) 成田 潔繁

(行政) 杉本 喜秋

「転入」

(教頭) 小澤 健

(国語) 征矢実保子

(数学) 高本慎一郎

(理科) 宮尾 直希

(農業) 新井 理宏

(農業) 原田弘一郎

(農業) 松村 和重
(事務長) 小林 信彦
(行政) 木下 翔太



会員の訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

(敬称略)

小泉 雄一 (七回) 阿南町富草

矢沢 健治 (旧二十三回) 飯田市伊賀良

上柳 勲 (七回) 飯田市上郷黒田

倉田 良晴 (十八回) 飯田市山本

山口 卓人 (六十回) 飯田市松尾

細川 仁司 (十七回) 飯田市今宮町

下農は今(在校生の活躍)

三年間を振り返って

平成二十四年三月 園芸クリエイト科卒業

仲 藤 恭 貴 (高64回卒)



私は、高校に入学と同時にラグビーを始めました。今まで経験のない中での練習は、毎日とても辛く楽しくありませんでした。三年生もとても厳しく大変でした。耐えられなくなり、私は、二カ月で練習に行かなくなりました。ラグビーをやらなくなり、毎日毎日遊び歩いていました。でも、どこかで練習に戻らないとなと思っていました。三年生が引退した時に戻りました。一回逃げてしまった私は全然練習についていけませんでした。自分のせいだけどころく悔しかったです。一度逃げてしまったから、私なりにがんばりました。私達が最高学年になったとき、部員は十二人しかいませんでした。少人数で練習をしていました。僕ら三年生は、菅平で北信越代表

を決めるセレクションがありました。全九十人ぐらいから二十二人選ばれるセレクションでした。昨年は、先輩方は全員選ばれていました。僕らも全力でやることを全部やりました。そして、全員は選ばれませんでした。私を含めて三人が北信越代表に選ばれました。選ばれなかった人の分までがんばろうと三人で決めました。すぐに大阪に遠征に行きました。色々なチームと戦っていい経験ができました。夏には、コベルコカップという全国大会がありました。毎年補助員で行っていた大会に参加できることはとてもうれしく思いました。チームの目標は、三位以上になることでした。大会一日目に、東海代表と近畿代表と対戦しました。結果は負け。この大会は、花園の決勝の前に行われる東西対抗戦のメンバーのセレクションも兼ねていた。花園のグラウンドに立ってるチャンスなどでみんな張り切っていた。

私は北信越代表だけで満足だったのでそんな意識はしていませんでした。大会結果は、七位という微妙な感じで終わってしまいました。東西対抗戦には昨年の先輩は五人も選ばれていました。大会が終って数日後、通知が来ました。東西戦に選ばれたのは私だけでした。でも、素直に喜べませんでした。三人で行きたかったです。選ばれなかった人達の泣いている姿は今でも忘れません。すごく申しわけなかったです。私なんかより一年の時からずっとがんばってきた人達が行けばよかったのに、周りの人達からも、「なんでお前なんだよ」とかめっちゃ言われました。チームメイトや先生や保護者の方もどこかでなんであいつなんだと思っていたかもしれない。でも、自分が一番つらかったです。東西対抗戦に出場のプレッシャーはすごかったです。毎日が不安でした。試合当日、花園のグラ



ウンドはかなり大きくとてもよい所でした。選ばれなかった三人の分まで走り、がんばりました。負けてしまいましたがとても満足でした。花園で試合できたのは、とてもよい経験になりました。今、社会人になって思い返してみると、ラグビーをやっていたことはとてもいい経験でした。下農でラグビーをやれてよかったです。いい仲間に出会えてよかったです。私のこれからの人生で、この経験は自信になると思います。今、ラグビー班は人数が少なく大変だと思います。でも、こんな私でもできたので、いろいろな人にラグビーをやってもらいたいのです。ラグビーをやらないとわからない楽しさを知ってほしいです。たくさんの人にお世話になりました。ありがとうございました。

学校農業クラブ

意見発表の部 区分「食料・生産」

長野県大会 北信越ブロック大会 最優秀賞 優秀賞 受賞

アグリサービス科 三年 今村 窓香



今年の春 休み、私は箕輪町の畜産農家に体験実習に行きました。そこでの体験がとても印象的だったので、意見発表の題材にしました。

県大会に行くに当たり、校内発表会での原稿をもっと内容の濃いものにする必要がありました。自分だけでは知識も少なく、先生方に協力してもらいながら仕上げていきました。発表は感情を込めて伝えることが大事なので、それができるまで何度も練習しました。

県大会前日の夜、宿での練習で納得のいった発表にならないので、外で一人で練習してやるように言われました。会場がスキー場内だったため、グレンデに向かって練習しました。はじめは小さな声でやっていましたが、「本番で伝えることができる」と思い、大声でやることにしました。すると、自然に感情のこもったものになり、発表していき気持ちがよかったです。当日、朝五時から発声・発表練習をし、気持ちをよくなって本



番に臨みました。発表順番は真ん中あたりで、前の人たちの発表に少し圧倒されました。それでも、「自信を持って、会場の全員に伝えよう」と、堂々とやることにしました。第一声を発してからは、あまりよく覚えていません。しかし終わった後にすごく満足のいく発表ができたので、とても気持ちがよかったです。そして、県大会で最優秀賞をとることができました。この賞がとれたのは、周りの協力があったからです。体験先の農家の方、指導してくれた先生、支えてくれた仲間感謝しています。この経験は、自分にとって大きな自信になったと思います。今回のことをこれからの進学、就職に活かしていきたいです。

インターアクトクラブ台湾研修報告 夢のようない五日間

アグリサービス科 三年 原 未彩希



私は、七月二十六日から三十日まで五日間、インターアクトクラブの台湾研修に参加しました。中学生の頃から外国に興味があり、いつかは行ってみたいという思いがありました。しかしここ数年、下伊那農業高校からは台湾研修に参加する人がいなかったため、私は二年前のインターアクト地区大会での壮行会を、すごいなあとは思いつつも、どこか他人事のように眺めていました。それから二年、いろいろな葛藤がありました。ようやく台湾研修に参加することができました。

今回の研修で私心がけてきたことは、事前研修で何度も言われ続けた、感謝の気持ちを持つこと・互恵・相手への理解尊重です。学ばせてもらう姿勢を忘れず、感謝の気持ちや、不注意の時のお詫び・挨拶は日本語がわかる人にも向こうの言葉で話すこと等を意識して過ごしました。

台湾では、龍山寺や夜市・故宮博物院なども、異国の文化を学べる貴重な場所だったので、どこもとても面白かったです。私が特に印象に残っているのは、

この五日間で、



国際的な視野が広がると同時に、日本人としてのアイデンティティも養われたと思います。外国である台湾が、すごく身近に感じられるようになりました。この経験を活かして、将来はいろんな国に行ってみたいとも思いますが、是非また台湾を訪れたいと思います。

この研修は、高校生のうちに、海外で学習する機会をいたしたき、更に、マナーや礼儀など、これから生きていくうえで大切なことまで教えていただいた、本当に貴重な経験でした。この研修に関わってくれた全ての人に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

平成23年度卒業生(平成24年3月卒業)の進路状況

24. 3. 31現在

卒業生数		人数	比率	計	合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学
男子	女子				合計	男子	女子	男子	女子
77人	73人			150	39	38	38	35	
				77	9	38	21	9	
				73	30	0	17	26	
				23	4	13	6	0	
				19	2	0	8	9	
				0	0	0	0	0	
				2	1	0	0	0	
				3	0	1	1	1	
				1	0	0	0	1	
				0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	
				1	1	0	0	0	
				5	0	3	1	1	
				4	2	0	0	2	
				7	0	7	0	0	
				21	13	0	3	5	
				7	1	1	5	0	
				1	0	0	1	0	
				30	4	11	8	7	
				23	11	0	4	8	
				2	0	2	0	0	
				1	0	0	0	1	

進路状況

平成23年度(平成24年3月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 齋藤淳子

新規学卒者の就職を巡っては、昨年と同様、厳しい状況です。本校に届けられる管内の求人数が昨年よりさらに少なく、また

企業によっては募集人数の倍やそれ以上の応募があり、万全な準備をして臨んだ生徒でもいい結果が得られない場合があります

した。また、本年度の就職希望者数は昨年度よりやや多く、一次で失敗を経験した生徒の再挑戦も昨年より厳しさを増しています。十月末現在で、来春の卒業予定の内の就職希望者五十一名中、内定が決まった生徒は約八割です。また、公務員の一次に合格している生徒もいます。残っている生徒については、県高校就職指導サポーター制度やハローワークとの連携を利用しながらじっくり取り組んでいきたいと思います。

以下、今春の卒業生の進路概況について触れます。

進学 4年制大学	就職 管内	又マ、(株)タニガワ、津具屋製菓(有)信州苑3、天恵製菓(株)、株式会社 戸田屋、(有)はと錦2、林製菓(株)2、株式会社 原鉄、卑弥呼カンパニー、(合)ひとつぶの麦、ホンダカーズ松川(有)ナカロク自動車、(有)ホテル弥生、三星ダイヤモンド工業(株)
東京農業(国際食料)、愛知学泉(家政)、東海学院2(人間関係・健康福祉)、名古屋文理(健康栄養)、大東文化(経営)、松本(人間健康)、名古屋学院(スポーツ健康)	阿智村社会福祉協議会、アイビーテクノクリエイション(株)、飯田精密(株)、(株)飯田城、NSKマイクロプレジジョン(株)、株式会社エヌ・イー、(株)お菓子のシアワセドー、オムロン飯田(株)2、医療法人輝山会2、(株)グラビアジャパン2、熊谷精機株式会社、KOA(株)匠の里2、信菱電機(株)、シチズン平和時計(株)2、(株)信濃雪、(有)新星商事2、(株)スガ	大谷総業運輸倉庫(株)、(株)コメリ
短期大学 東京農業(栄養)、飯田女子17(幼児教育7・家政9・看護1)、県短(生活科学)、高山自動車7(自動車工学)、名古屋文理2(食物栄養)		県内 新日本製鐵(株)名古屋製鐵所、田中社寺(株)、(株)日本デリカフレッシュ名古屋工場
農業大学校等 長野県農業大学校5(総合農4・果樹実科)、林業大学校、八ヶ岳中央農業実践大学校2(実践)		県外 新日本製鐵(株)名古屋製鐵所、田中社寺(株)、(株)日本デリカフレッシュ名古屋工場
専門学校 看護・医療・トレーナー4、調理・		

者は四名でした。

進学については、前年より希望者が減少して、七割程度でした。進学先・分野は多方面に渡り、残念ながら国公立大学の合格者はいませんでしたが、四年制大学が九名、地元の飯田女子短を含む短大が二十二名、県農業大学校等が八名、その他の専門学校が

まず就職についてですが、今春卒業した三学年は百五十名。その内就職者は四十九名でした。一回目の採用試験で不採用となった生徒が十一名いましたが、その後、複数回チャレンジする生徒もいました。が最終的に全員の生徒が内定をいただくことができました。約九割が地元企業であり、県外へ出た

本年も、無事「第七十七号稲丘時報」を発行することができました。これも偏に同窓会長の岩崎様を始め、寄稿や写真のご提供に快くご協力いただきました。同窓会員、準会員の皆様のお陰と感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。誠に有り難うございました。

本号では、現在平成二十五年十一月末までに移行申請を行わなければならない「新公益法人制度」に向けた取り組みを会員の皆様にお伝えできるよう、特集を組みました。是非ご覧いただき、ご意見等お寄せいただければと思います。



五十三名となりました。ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試、公募推薦)を利用して入学しました。未定の生徒の中には、海外留学を計画していたり、自衛隊補欠という生徒もいました。

(稲丘時報係)